

民話における女性に対する描写と偏見：日米大学生の比較研究



ケビン・グッドリッチ
ニコラス・マッカラ

アドバイザー：
ダスティン・ライト教授
関根繁子教授



概要

- 研究の重要性
- 研究質問
- 研究背景
- 研究方法
- アンケート調査の結果
- 結論
- 研究の限界点
- 参考文献
- 謝辞

研究の重要性

- 私達は、日本とアメリカで日本語と日本文化に関する多くの授業を履修してきた。
- 様々な民俗について学習することで、日本の文化的背景をより明確に把握できた。
- 民話における女性の描写と、女性が現在の社会からどう見られているのか、ということには明らかな関連があると気づいた。
- この研究を通して、民話は教育や社会問題に対する大学生の認識にどのような影響があるのか考えてみたい。
- 日米の大学生が、他国の民俗に関する知識を得ることで、その国の文化に対する誤解を和らげられると考えているかどうかを分析してみたい。

研究質問

1. 民話の女性に対する認識の影響は日米の大学生の間でどのように異なるのか。又どのように類似しているのか。
2. 民話を外国語の授業に取り入れることは日米の大学生が持つ社会問題や教育に関する意見にどのような影響があるか。

研究背景

- A. 民俗学における民話の定義
- B. 西洋の民話の例と背景
- C. 日本の民話の例と背景

民俗学における民話の定義

「...民話と伝承, 神話などはどうやって区別されているのでしょうか? この問題はいわゆるジャンル問題と呼ばれるもので, かなり以前から多くの研究者によって論議されてきましたが...」～小田淳一

一つ目の定義: 「民話 = 民衆の間で語り伝えられている話」

二つ目の定義: 「民話 = フィクションの物語で口承によって伝えられるもの」

「口承によって伝えられるもの」という形から「筆記されたもの」という形になる

西洋の民話の例と背景

- オデッセイのアテナ
- スラブ地域のババヤガ
- ヘンゼルとグレーテルの魔女
- ヨーロッパから北アメリカのピューリタン植民地までの魔女に問われた女性に対する描写
- 「ホーカス ポーカス」(1993年)、「ブレア・ウィッチ・プロジェクト」(1999年)と「ウィッチ」(2015年)現在のウィッチに対する描写

古来

中世

近世から近代まで

アテナ

- Beth Cohenはアテナは「女性における社会的な期待は民話に反映されている」と言う話は有名だ。
 - いつもゼウスの望みを公私と共に守っている
 - 自分の立場を弁えている
 - 最高の織り手の手本(例えて言うと、文字通りに)
- 魔女ではないが、魔女の特徴を持つ。
 - ずる賢く男性中心の社会を強化する存在として描写されている。



(From the Piazza dell'Emporio, Rome)

(Cohen, 1995)

主要な宗教の広がり

- Laurel Zwisslerはキリスト教の広がりを調べ、多くの場合キリスト教は主要な宗教になるにつれて、俗信を取り込むか 禁止かを定める。
 - 俗信を検討するためにキリスト教関係者に紹介しなければならなかった。
 - 認められなかったと決まったら、悪魔主義として禁止された。
 - 「**主要ではないその他の俗信**」と言えることは悪魔主義と認識して、神様の世界に脅す。
 - 継時的にキリスト教の「魔女」に対する見方が生まれてきた。その変化はヘンゼルとグレーテルとババヤガの物語に見られる。
- アテナは魔女のような行動をすると評判が良くなる。その一方、「魔女」と呼ばれる人は社会的な期待を強めるために「魔女」としての烙印を押される。

ババヤガとヘンゼルとグレーテルの関係

- Forrester、Goscilo、Skoroなどの作家によると、ババヤガは古代にキリスト教から影響されていないスラブ地域の一番有名な魔女。
 - 異教徒の神の合併かもしれないが、支配されない存在と見られている
 - 母なる自然の具現化と言える
 - 気まぐれ
 - 様々な無生物も含む色々な使い魔を飼う
- ヘンゼルとグレーテルの魔女と言うのはGrimm兄弟が近世ドイツに記録した物語のババヤガに似ているてん良くあるキャラクターである。
 - 悪、意地悪、神に反対していると描写されている
 - 野獣の赤い目と嗅覚を持っている;つまり、人間ではない
 - 動物の使い魔を飼う、キリスト教中心の考え方

(Forrester, Goscilo, Skoro, Zipes, 2013)(Grimm, n.d.)(Karlsen, 1998)

ババヤガ



(Ivan Bilibin, 1900)

ヘンゼルとグレーテルの魔女



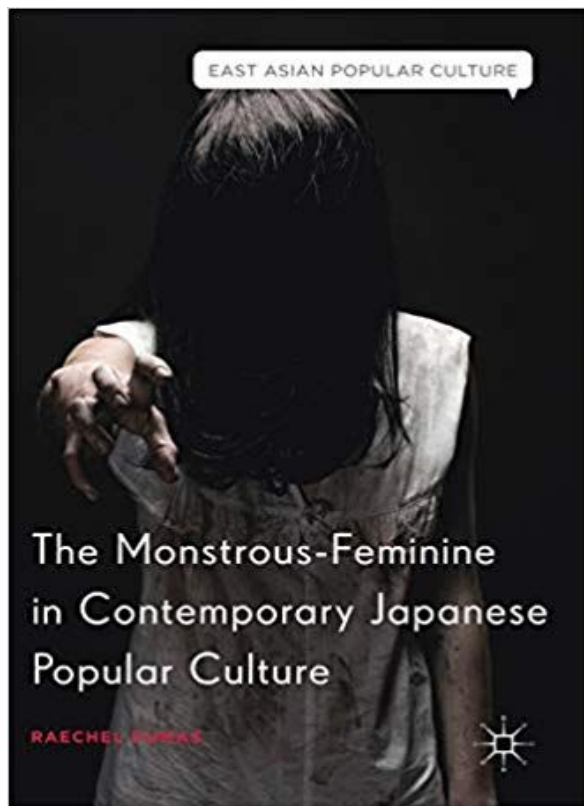
(Corbis, N.D.)

近世ヨーロッパとピューリタン植民地のウィッチ

- Karlsenによると、「主要ではないその他」集団に属し、女性のように、不満があると疑われたら容易に悪魔派に頼らせると認識した人が多かった。それで、魔女として烙印を押された。
- 男性が権力を持つ社会の中で、女性は民俗や俗信などの文化を通して詳細に審査された。
 - ピューリタン社会の中、不満と言うことは「自分の立場を超えたい」という定義でした。だから、女性として、他の立場に狙ってダメだった。
- ウィッチのイメージが現在にだんだんキリスト教の見方から離れて変化してきた。いまだにその見方にかなり存在し、ホーカス ポーカス（1993年）、ブレア・ウィッチ・プロジェクト（1999年）、ウィッチ（2015年）、などの人気の映画でその描写が見られる。

西洋のキャラクター	キリスト教の影響	道義	子供を食べるか どうか	人間？
アテナ	なし	人のいい	なし	天来な存在
ババヤガ	なし	とても中立 / ケースバイケース	ある	人間ではない / 時々天来な存在
ヘンゼルとグレーテルの魔女	多少	悪意がある	ある	人間ではない 野獣
近世のヨーロッパ ---> ピューリタン植民地	非常に	悪意がある	ある（魔法のために）	悪魔にされた人間
ホーカス ポーカス、ブレア・ウィッチ、ウィッチ	あるが、昔の残りだけ	悪意がある	ある（魔法のために）	悪魔にされた人間

日本の民話の例と背景: The Monstrous Feminine



(Raechel Dumas, 2018)

- Raechel Dumasは「この女性的で恐ろしい描写は昔からの日本文化に存在するものであり、常軌を逸した行為・性格を象徴され、道徳行為・社会規範を強化する役割を果たしている」と主張している。
- この描写は古代の日本社会にも現代の日本社会にも常に様々な代表者が存在し、日本の歴史上の出来事や現象等から影響を受けている、とDumasは述べている。
 - 神道、仏教(経・説話)
 - バブル景気と平成不況・社会構造の変化

Dumas, Raechel (2018).

日本の民話の例と背景: 仏教

仏教

- 説話
 - Monika Dixは「女性は情欲の化身」として扱われている。
- 血盆経

武見李子によると、「血盆経は血の穢れで血の池地獄に落ちた女性に成仏を示している。」

 - 平安時代:「女性劣機観」
- 五障一
工藤美和子に書かれた一つの点
 - 「五障とは、女性がもっている「五つの障害」という意味だ
 - 「女は仏になれない、男は仏になれる」



池地獄、retrieved from twitter

日本の民話の例と背景: 女性の幽霊



The Ghost of
Oyuki, retrieved from
Japanese Ghosts and
Demons, Art of the
Supernatural

Brenda Jordanは「Yuurei: Tales of Female Ghosts」に「悪意や愛情や嫉妬や憎しみや悲しみ等の抑えることのできない激しい感情を抱えたまま死んだ人々は生きている者のところに戻ってくるという。」と書かれている。

「江戸時代の様々な怪談の共通のテーマは「嫉妬を抱いている、または、「ひどく扱われた」女性である。」

仏教の説話にも日本の怪談にもある類似点は「抑えることのできない感情を抱える者」だと考えられる。

代表者: お岩さん、お菊さん、カシマさん

2つの代表者:「雪女」

- 本来の民話:
 - 幾つかの説がある
(まきど・ようこ)
- キャラクター:
 - 白装束
 - 美しいが、恐ろしい
- 解釈:
 - 寂しさの化身
 - 人間としていきていきたがっている



Retrieved from Hyakkai-Zukan
by Sawaki Suushi

(Makido, 2013), (Ikeda, 2017)

2つの代表者:「口裂け女」

- 本来の民話: 都市伝説
 - 西日本で始まった
 - 岐阜県内に発生源を求める見解が多い。
- キャラクター:
 - 大きなマスク
 - 耳まで裂けた口
 - 「強烈に足が速い」
- 口が裂けた原因説
 - 整形手術の失敗
 - 殺害者に襲われた設定



Image retrieved from the website
“Fountain of Fear”

(Nakao, 2005)

日本の 幽霊と妖怪	仏教の影響	人間を殺すかどうか	人間性がある？
お岩さん(幽霊)	伺われる	なし	元々の人間
お菊さん(幽霊)	伺われる	なし	元々の人間
雪女(妖怪)	確認できない	殺したことがある	人間性がある
山姥(妖怪)	確認できない	人食い	曖昧
口裂け女(妖怪)	確認できない	殺したことがある	人間性がある

研究方法

- 回答統計: 103名の大学生
 - 53名の日本人大学生
 - 女性: 39名、男性: 14名
 - 50名の米国の大学生
 - 女性: 25名、男性: 21名、言いたくない: 1名、その他: 3名
- オンラインでのアンケート (Googleフォーム)
 - 日本語のアンケート
 - 英語のアンケート

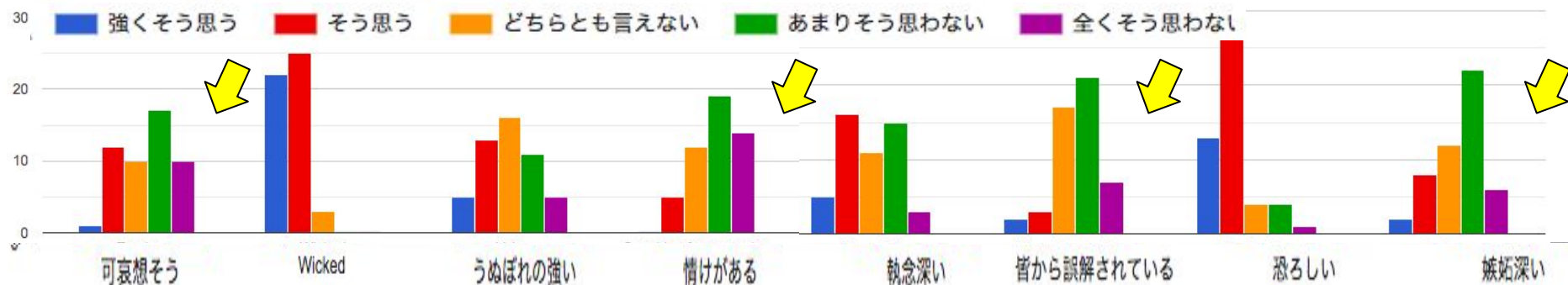
アンケート調査の結果

研究質問1

民話の女性に対する認識の影響は日米の大学生の間でどのように異なるのか。又どのように類似しているのか。

アメリカ:

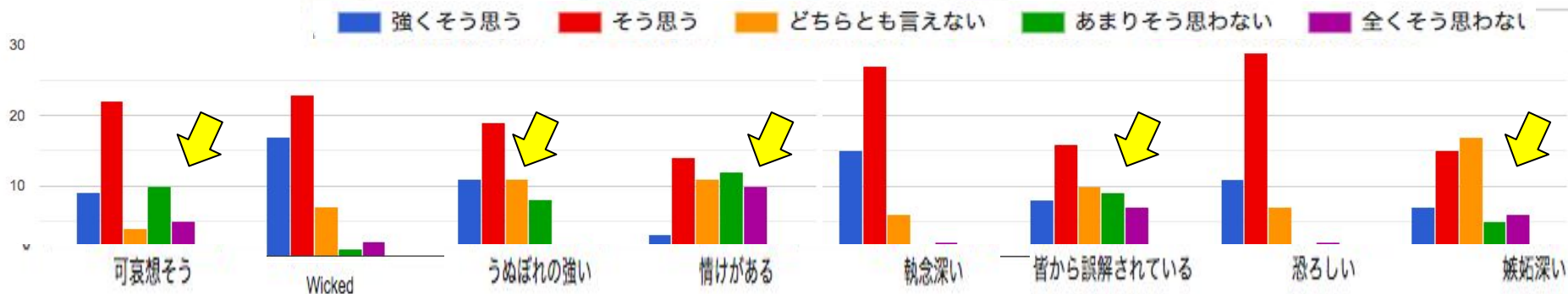
ヘンゼルとグレーテルの魔女とはどのようなキャラクターだと思いますか？



- アメリカ人の回答者の大多数は、「魔女」は「wicked」または「恐ろしい」と答えた。
- 「可哀想」とは思わないを選んだ回答者の人数が半分以上で、「情けがある」に関しては「そう思わない」と「強くそう思わない」を選んだ回答者は60%を超えた。

アメリカ:

17世紀から現在までの魔女の全体的な描写というのはどの様な者だと思いますか？

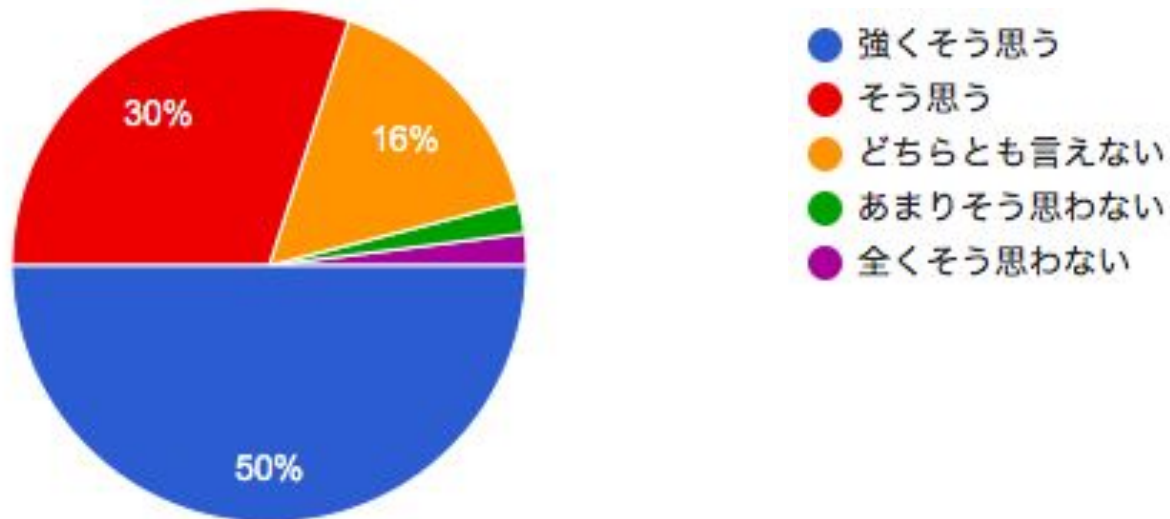


- アメリカ人の回答者の大多数は「魔女」の描写は「wicked」または「恐ろしい」と答えた。
- 一方で、「可哀想」だと答えた人は60%を超えた。さらに「皆から誤解されている」と思っている人はほぼ半分である。

**私達は知っているかぎり、英語の「Wicked」にぴったり当てはまる言葉は日本語には存在していない為、英語のアンケートと異なって、日本語のアンケートの10番から12番までの質問には七つの選択肢がある。

アメリカ:

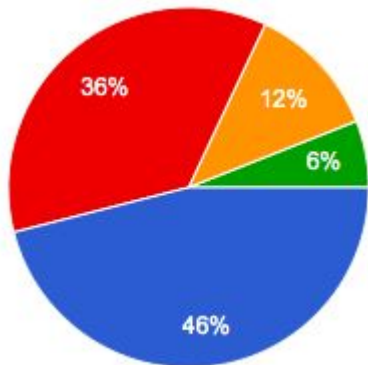
魔女の全体的な描写は、50年前とは異なると思いますか？



- 魔女の描写は50年前とは異なると思っているアメリカ人は80%。

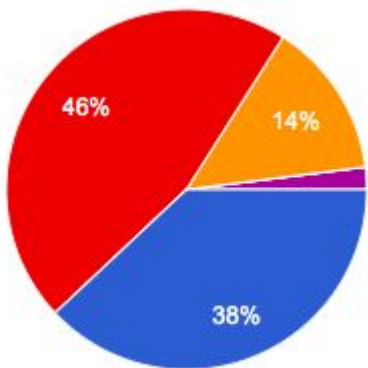
アメリカ:

1. アメリカには一定の明確な男女の役割があると思いますか？



- 強くそう思う
- そう思う
- どちらとも言えない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

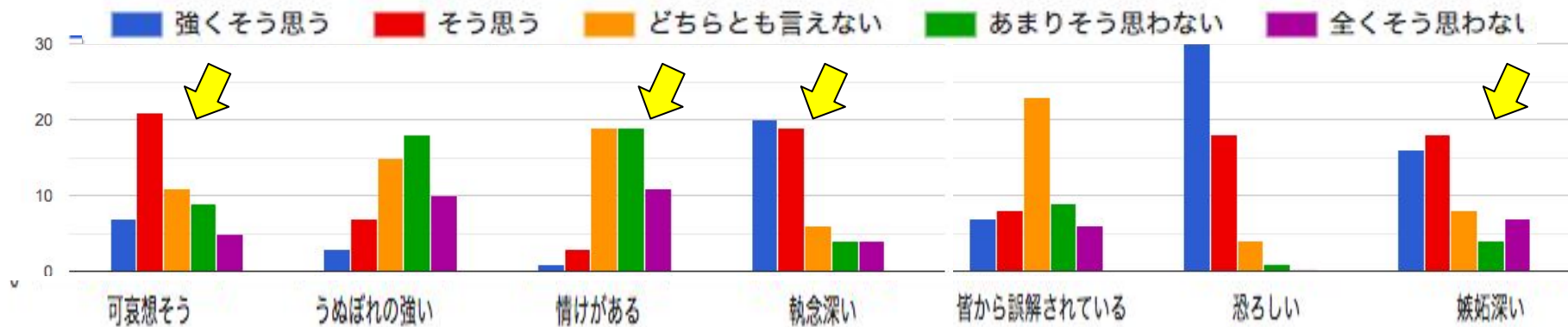
2. 現代のアメリカにおける家庭での女性の役割は、50年前とは異なると思いますか？



- 約8割のアメリカ人は一定の明確な男女の役割があると思っている。
- 84%のアメリカ人は家庭での女性の役割は50年前とは異なると思っている。

日本:

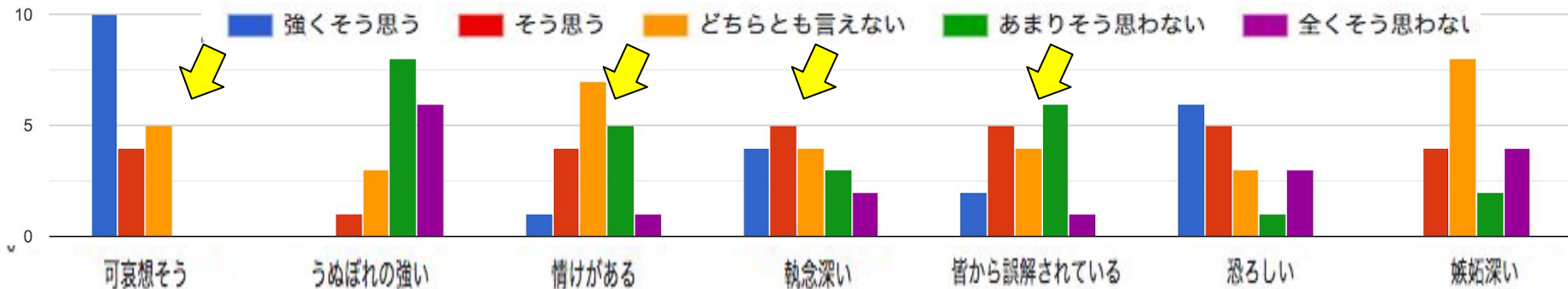
口裂け女というのはどのようなキャラクターだと思いますか？



- 日本人の回答者の大多数が「恐ろしい」または「執念深い」と思っている。
- 回答者の過半数は「可哀想」だと答えた。
- 「皆から誤解されている」という選択肢に対する答えは主に中立的である。

日本:

お岩さんというのはどのようなキャラクターだと思いますか？

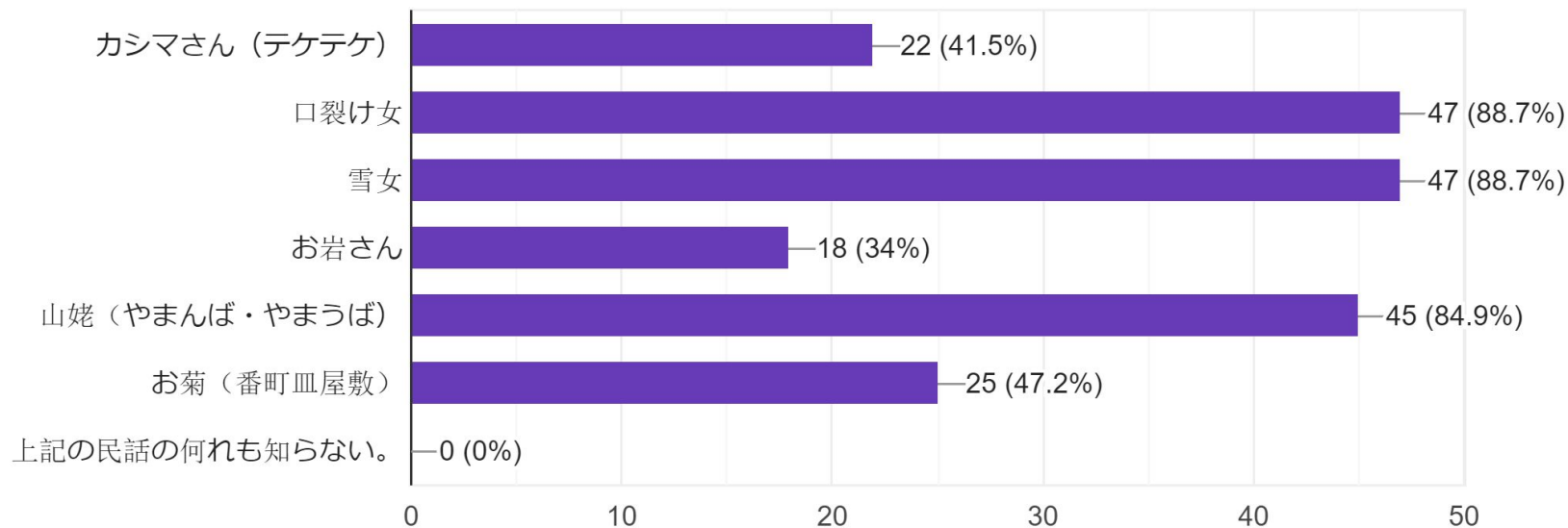


- 「可哀想」だと答えた人の人数が70%を超えた。
- 「恐ろしい」と答えた人は60%を超えた。
- 「情けがある」という選択肢に対しては、中立的な意見だった。

* * 日本人の回答者の中でお岩さんのことを知っているのはただの18人に過ぎないである(回答者全員のほぼ三分の一)。

日本:

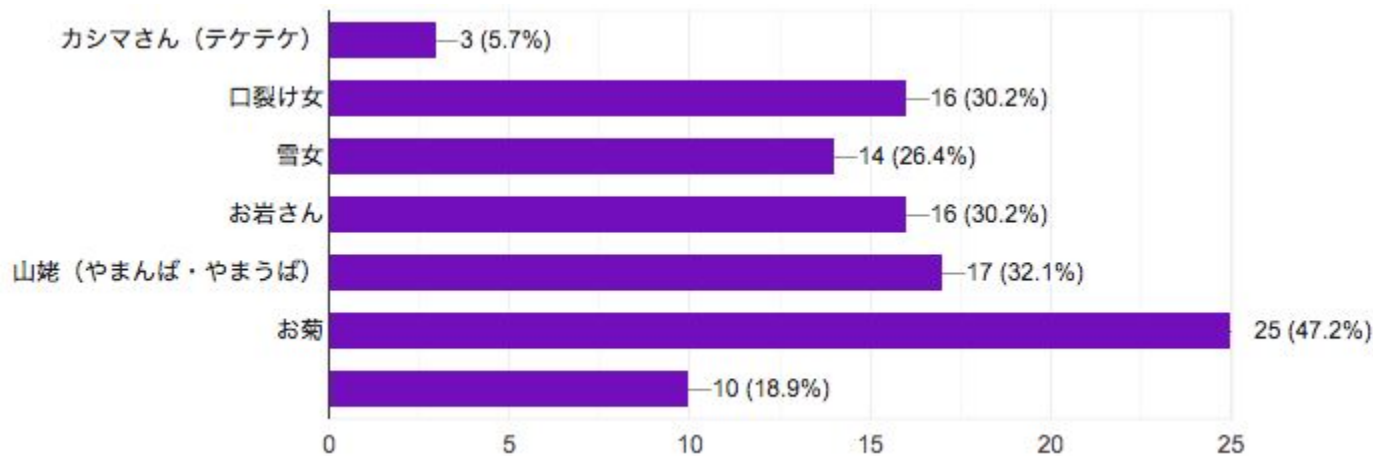
以下の民話のキャラクターのうち、知っている民話を全て選んでください。



- ほぼ全員の回答者は「口裂け女」と「雪女」と「山姥」を知っていると答えた。

日本:

化け物や幽霊や妖怪ではなく実際の女性を扱う民話を選んでください。



- 「お岩さん」のことを知っている回答者の約90%と「お菊さん」のことを知っている回答者全員(100%)は実際の女性を扱っていると答えた。
- 「口裂け女」や「雪女」を知っている回答者の中で、実際の女性を扱っていると答えた人は35%以下だった。

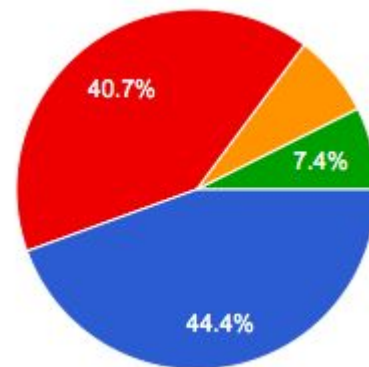
日本:

1. 日本には一定の明確な男女の役割があると思いますか。



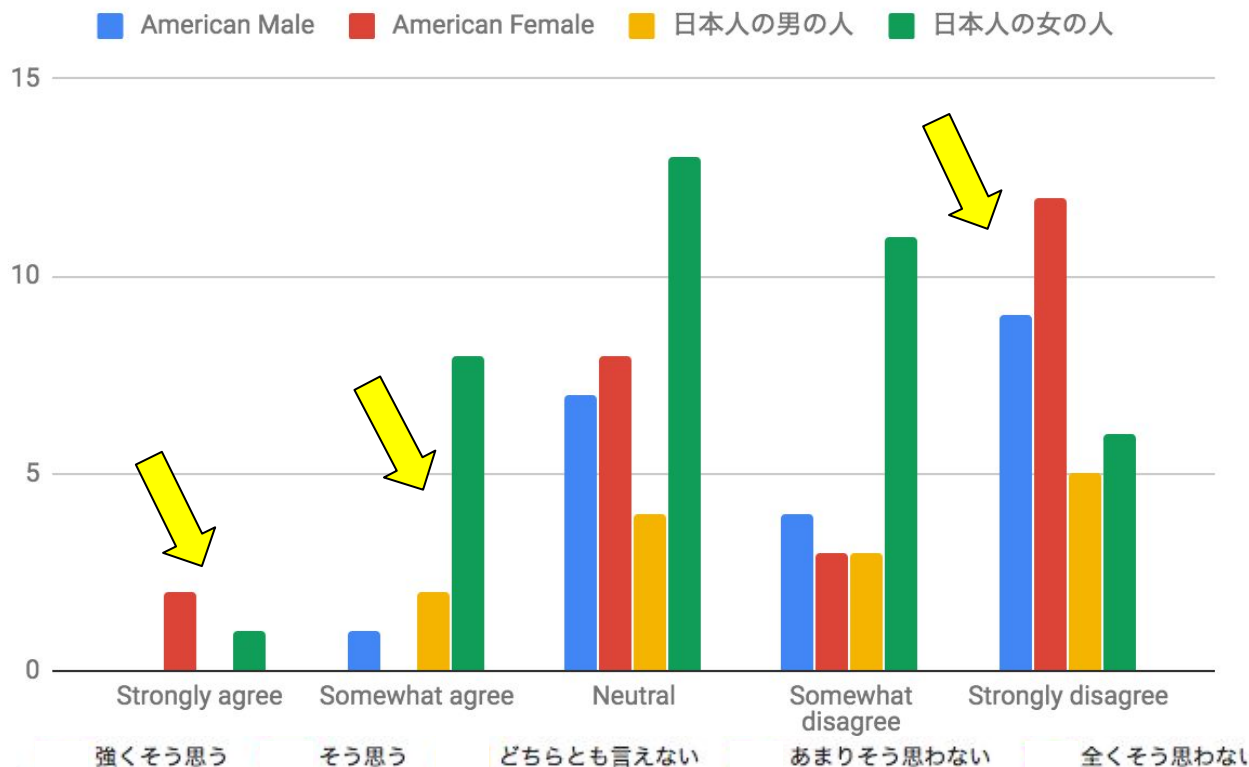
- 日本人の回答者の大多数は「強くそう思う」と「そう思う」と答えた。
- 「あまりそう思わない」と答えた人は3.8%にすぎない。

2. 現代の日本における家庭での女性の役割は、50年前とは異なると思いますか。



- 日本人の回答者の大多数は「強くそう思う」と「そう思う」と答えた。
- 「そう思わない」と答えた人の人数は8%以下である。

男性は女性より上の立場に立った方がいい場合が多くあると思いますか？



- 一般的に賛成していない人が多い。
- 賛成した人の理由:

日本人女性「男性はリーダーに向いている」「子供を産むと職場を離れなければいけない」

アメリカ人男女:「男性の方が身体能力が高い」

「立場」に対する日本人の何人かの書き込んだ回答

「男性に引っ張って行って欲しいと思うから。」

「引っ張ってくれるときは引っ張ってほしい。」

組織を束ねる人というのはあまり交代するものではないと思うし(組織統一のため)、女性はどうしても出産があるのでblankを作りやすい。

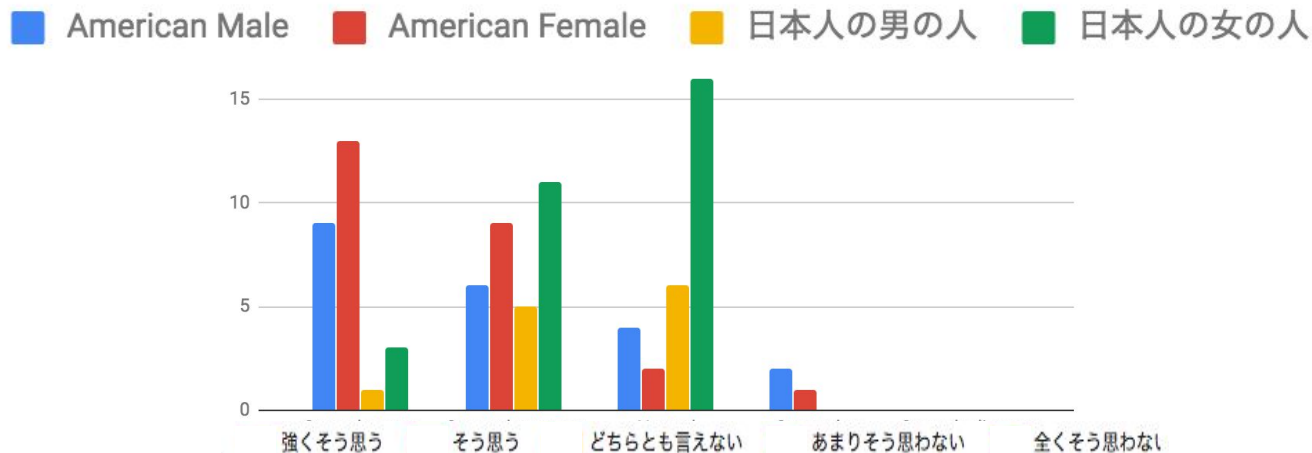
『結婚して子どもを産む』ことが女性の最高の幸福だと考えている人が多い上、結婚・出産を経た女性の社会復帰が難しい現在の社会システムの中では、上に立つ女性はきっと辛い思いをするだろうから。

「立場」に対するアメリカ人の何人かの書き込んだ回答

<p>“Some cases at home and some at work whether he is the boss or based in physical strength.”</p>	<p>“Some cases at home and some at work whether he is the boss or based in physical strength.”</p>	<p>“I don't really know. In academics no, but there is a natural physical difference between men and women giving them more strength naturally, unless a woman works out like crazy.”</p>
<p>“In situations where they are more qualified and have more experience.”</p>	<p>“It should all depend on your ability to work or how useful you are.”</p>	<p>“I don't agree. People should be hired/fired for their overall talents and shortcomings.”</p>

日本には女性に対して偏見があると思いますか？

アメリカには女性に対して偏見があると思いますか？



- 日米の大学生共に大多数が女性に対して偏見があると思っている。
- 日本の女性は「どちらとも言えない」と答えた人が一番多かった一方で、アメリカの女性は「強くそう思う」と答えた人が一番多かった。

研究結果1のまとめ

- 予想に反して、日本人の男性は日本人の女性より男性の方が上の立場に立った方がいいとは思っていない。
- 女性に対して偏見があるかについて日本人の意見は曖昧だった。その一方、アメリカ人は強く偏見があると思った。
- 何人かの日本人の女性は性別の違いに基づいた立場の違いは偏見ではないと思っている。
- Zwisslerによると、歴史的に少数派の集団と考えられる女性は「魔女」の歴史と「女性」の歴史には深い関係があると言ったが、言えるかもしれない。
 - 魔術に対する態度や考え方の変化と同様に女性に対する考え方も変わってきた。

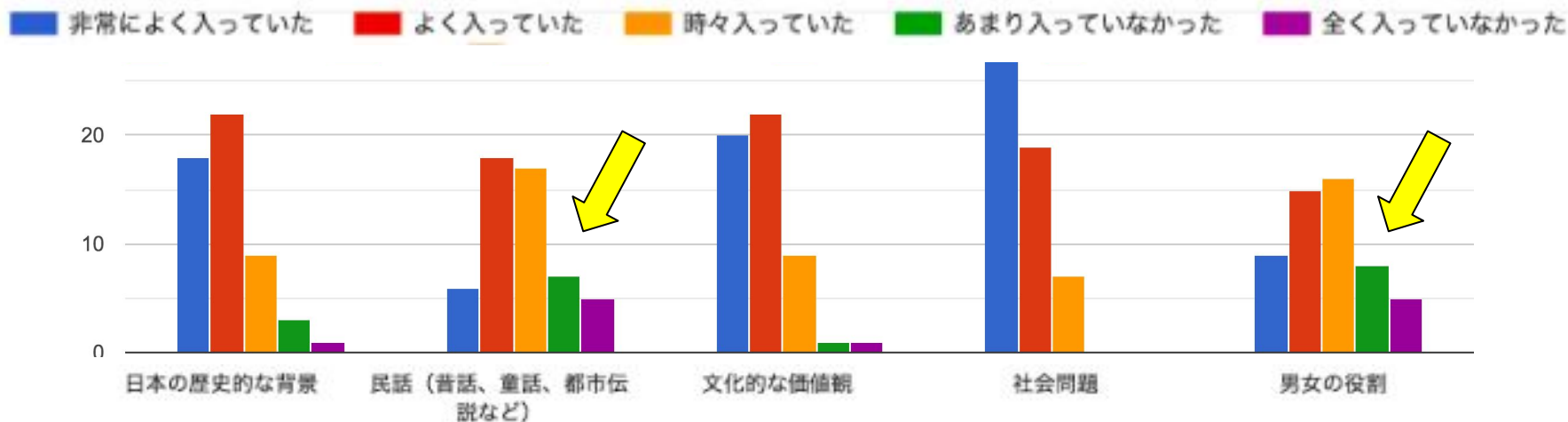
アンケート調査の結果

研究質問2

「民話を外国語の授業に取り入れることは日米の大学生が持つ社会問題や教育に関する意見にどのような影響があるか。」

日本:

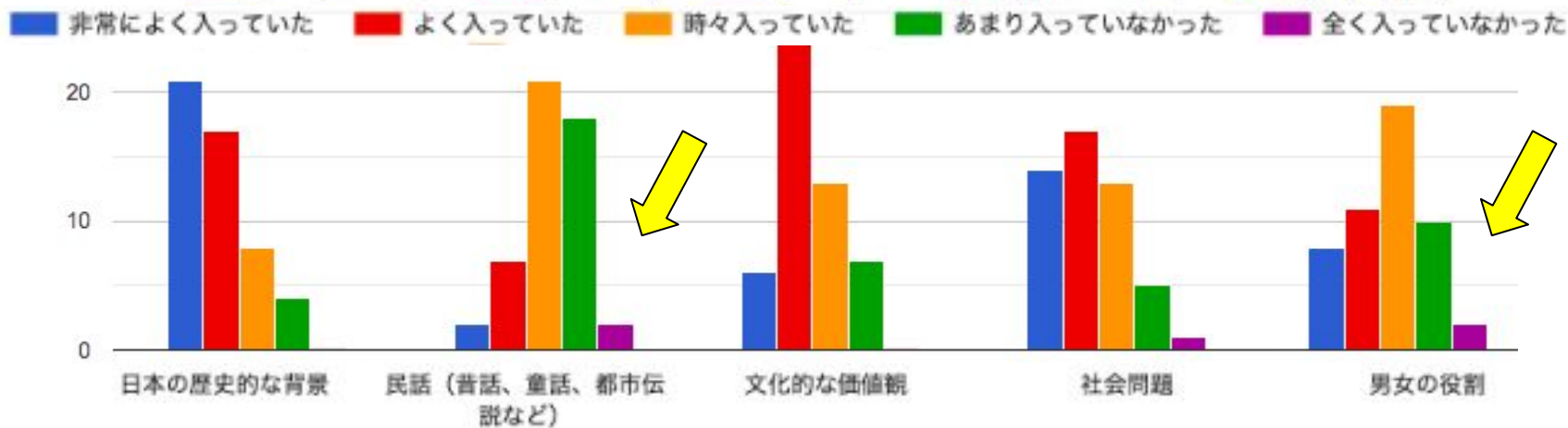
日本の教育の中で、日本文化の要素はどのくらい入っていたと思いますか。



- 「民話」はある程度(43%)入っていたと答え、あまり又は全く入っていなかった(36%)と答えた。
- 「民話」と「男女の役割」は他の要素に比べてそんなに入っていなかった。

アメリカ:

アメリカの教育の中で、西洋文化の要素はどのくらい入っていたと思いますか。



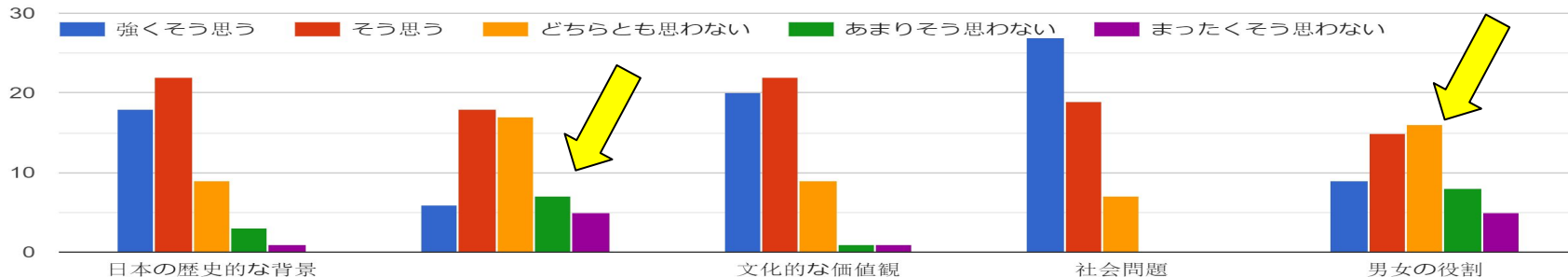
- アメリカ人の回答者も自分の教育の中に「民話」がある程度入っていたと答えた。

日本:

日本の教育の中で、日本文化についてもっと学べたら良かったと思う項目はどれですか。

18.

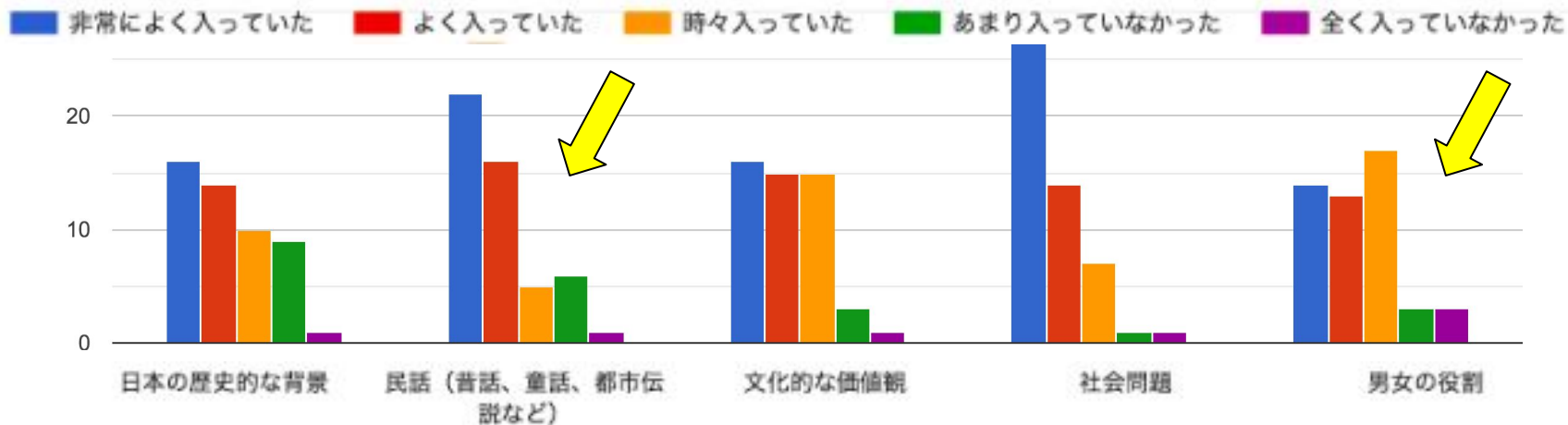
日本の教育の中で、日本文化についてもっと...か。下の表の該当欄に印をつけてください。



- 日本人の回答者は主に「社会問題」や「文化的な価値観」を挙げました。
- ここでも「民話」と「男女の役割」は他の要素に比べて低い。

アメリカ:

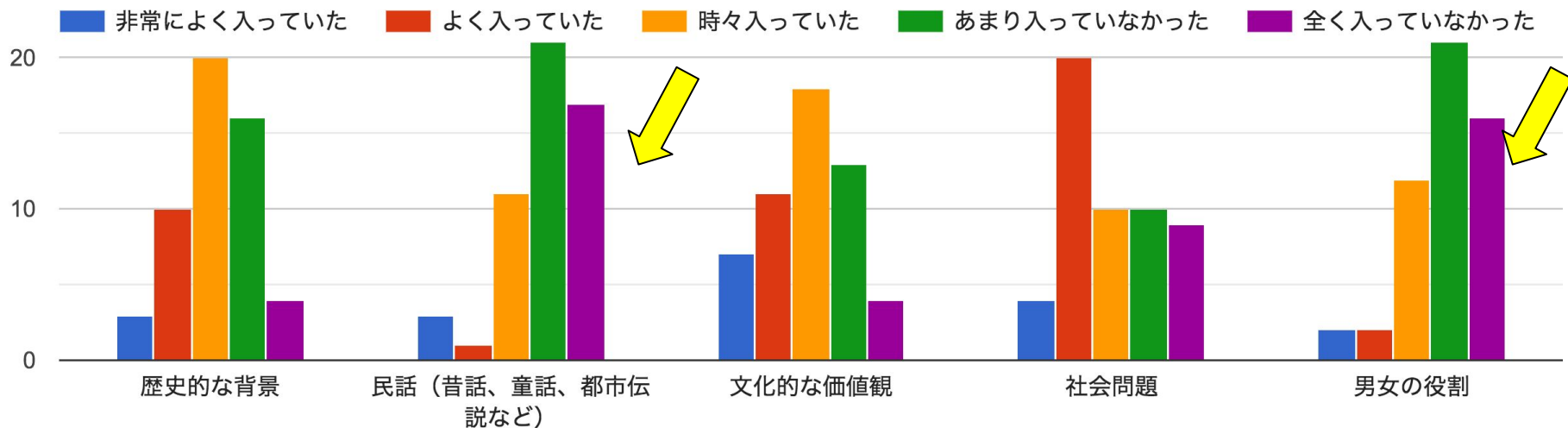
アメリカの教育の中で、西洋文化についてもっと学べたら良かったと思う項目はどれですか。



- アメリカ人は日本人より自国の文化の「民話」と「男女の役割」を勉強したかった。

日本:

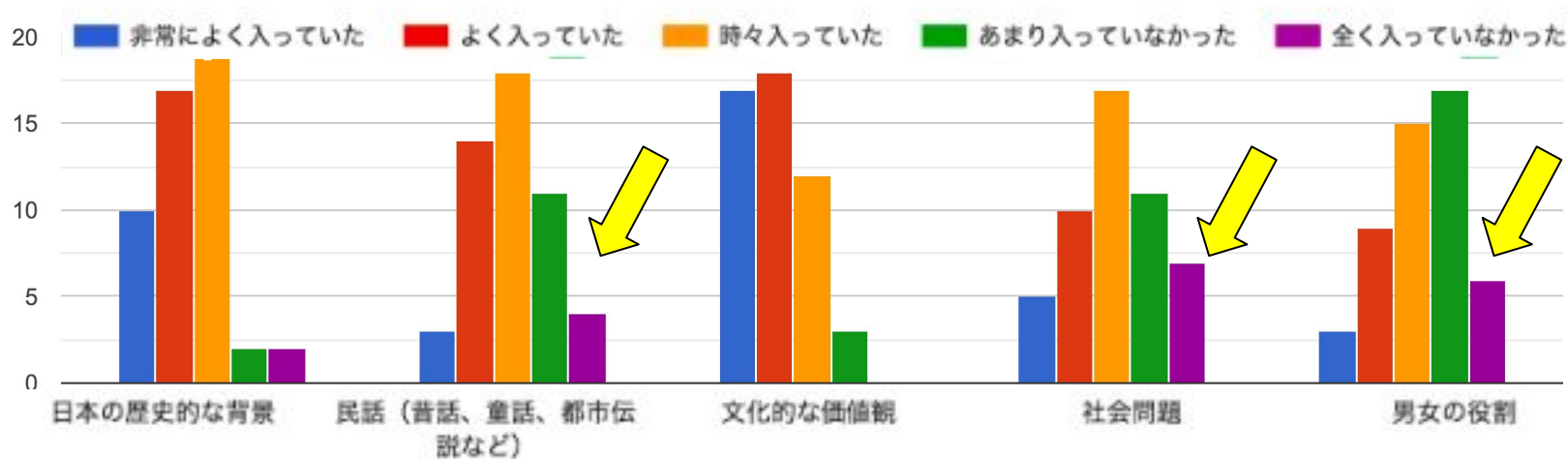
高校の英語の授業にはどのくらい西洋文化の要素が入っていたと思いますか。



- 高校の英語の授業にあまり入っていなかった要素が「民話」と「男女の役割」だと答えた。

アメリカ:

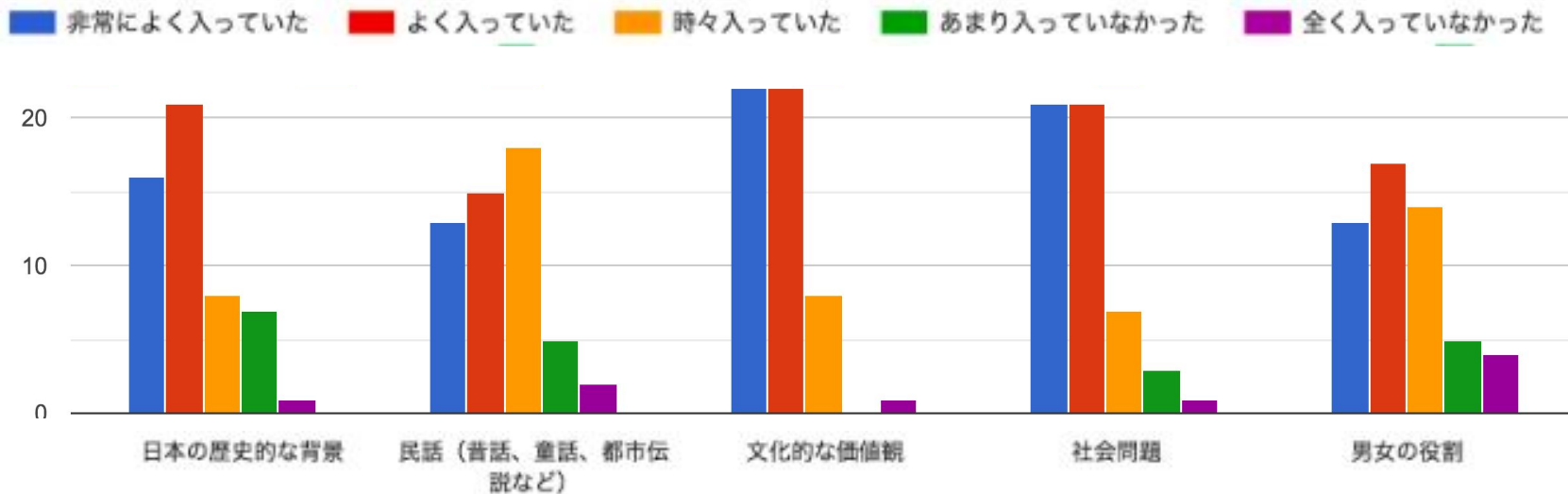
高校の外国語の授業にはどのくらいその外国の文化の要素が入っていたと思いますか。



- 日本と同じように「男女の役割」一番低かった。

日本:

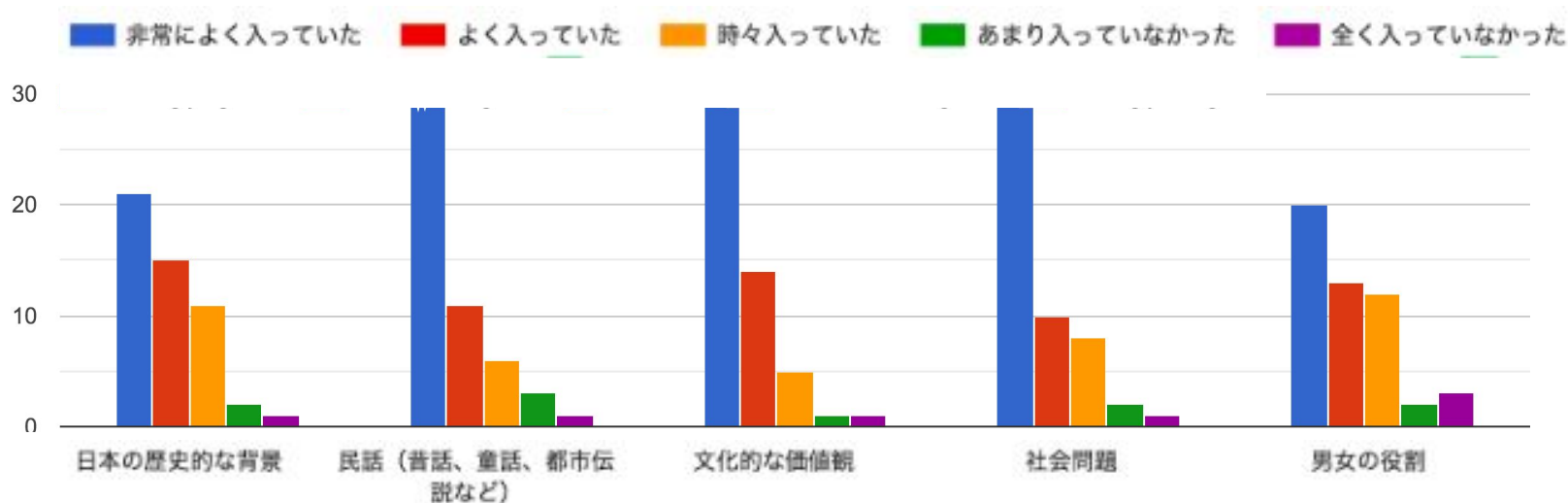
高校の英語の授業の中で、西洋の文化についてもっと学べたら良かったと思う項目はどれですか。



- 日本人の大多数は民話以外の全ての項目についてもっと勉強したかったと答えました。

アメリカ:

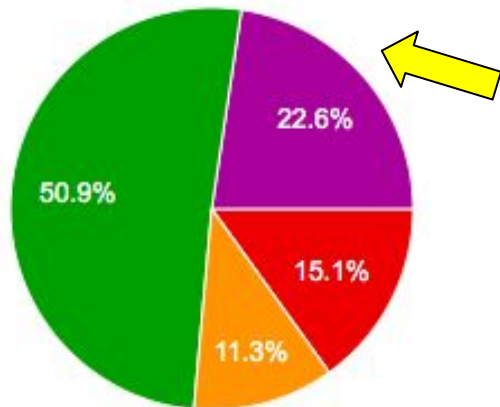
高校の外国語の授業の中で、その外国の文化についてもっと学べたら良かったと思う項目はどれですか。



- アメリカ人は全ての項目について外国語の授業でもっと勉強したら良かったと思っている。

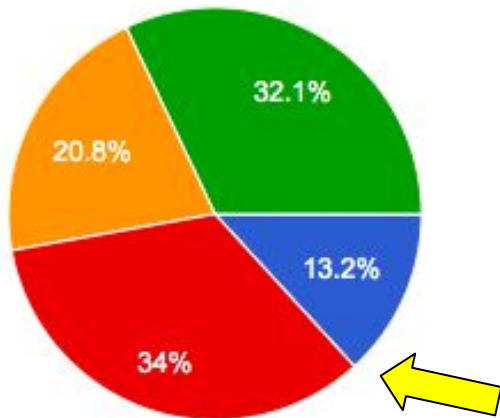
日本:

1. 外国人は日本の民話をよく知っていると思いますか。



- 強くそう思う
- そう思う
- どちらとも言えない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

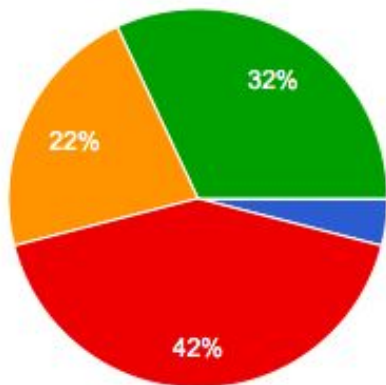
2. 外国人が日本の民話を勉強したら、日本の文化の背景をもっとよく理解できると思いますか。



- 外国人が日本の民話を知らないと思っている日本人の回答者は 約 74%である。
- ほぼ半分の回答者は二つ目の質問に対して「強くそう思う」と「そう思う」と答えた。

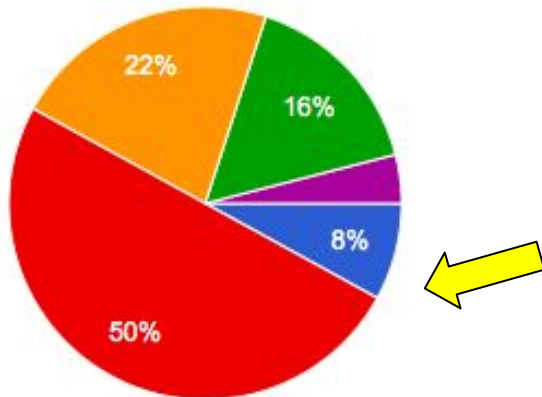
アメリカ:

1. 西洋ではない文化は西洋の民話をよく知っていると思いますか。



- 強くそう思う
- そう思う
- どちらとも言えない
- あまりそう思わない
- 全くそう思わない

2. 西洋ではない文化の人が西洋の民話を勉強したら、西洋の文化の背景をもっとよく理解できると思いますか。



- ほぼ半分のアメリカ人は、西洋人ではない人は西洋の民話を知っていると思っている。
- 過半数のアメリカ人は西洋民話を勉強したら西洋文化をより理解できると思った。

研究結果2のまとめ

- 日米の大学生と共に、自国の文化の「民話」、「男女の役割」についてある程度勉強しましたと答えました。
- アメリカ人の大学生は「民話」と「男女の役割」は外国語の教育にある程度入っていたと答えた。
 - その一方、日本人の大学生の英語の教育には「民話」と「男女の役割」があまり入っていませんでした。
- 日本人の回答者に比べてアメリカ人の回答者は「民話」と「男女の役割」両方をもっと勉強したいと思った。
- 「民話」、「男女の役割」と「社会問題」の関係は民話と社会的権力構造との関係に関与しているかもしれません。

結論

- 民話の内容・背景は歴史的な影響を持ち、現在の社会問題とは関連が確実にあると言える。
- 民話における女性に対する描写は当時の世の中がどのように見ていたかという事を反映していると考えられる。
 - 義務教育の中で、民話の背景について学習する機会があれば、民話の描写と現実との区別を付けられるようになる。従って、現代社会に存在する問題点に対する見方にも影響があると言えるかもしれません。
- 日英大学生はお互いに異文化の民話の背景をより知りたいだ。
 - 日本人大学生はアメリカ人大学生ほど自国の文化のことをそれだけ知りたくないようだ。

研究の限界点と将来の研究の話題

- アンケートの対象は今大学に通っている学生に限られている。
 - 英語のアンケート→主にカリフォルニア出身の人々。
- 日本語のアンケートの回答者は大多数が女性である。
- 英日のアンケートを配った時から最後の回答をしてもらった時の間は一か月間以下である。
- 研究の背景の深さは限られている。
- 関連の研究を行いたいと思っている。
 - 新しい質問
 - 他のキャラクターを詳しく解析する

謝辞

- 関根教授
- ライト教授
- 小垣先生
- 齋藤教授
- ガス・レナード
- キャップストーンの同級生
- アンケートの回答者

ご静聴ありがとうございました

参考文献 1/5

The 3 instances of Maleficent. (n.d.). Retrieved February 18, 2019, from

<http://www.pitt.edu/~dash/type0410.html#basile>

American Folklore Society. *What is Folklore?* <https://www.afsnet.org/page/WhatIsFolklore?>

Armstrong, K. (2006). *A short history of myth* (1st American ed). Edinburgh ; New York: Canongate.

Cohen, B. (1995). *The Distaff Side: Representing the Female in Homer's Odyssey*. Retrieved from

<http://public.eblib.com/choice/publicfullrecord.aspx?p=272884>

Dix, Monika (2009). *Saint or Serpent: Engendering the Female Body in Medieval Japanese Buddhist*

Narratives in Bryan S. Turner and Zheng Yangwen (Eds.) (pp. 43-58). New York: Berghahn Books.

Dumas, Raechel (2018). *The Monstrous-Feminine in Contemporary Japanese Popular Culture*.

Springer International Publishing AG.

参考文献 2/5

Forrester, S. E. S., Goscilo, H., Skoro, M., & Zipes, J. (Eds.). (2013). *Baba Yaga: the wild witch of the East in Russian fairy tales*. Jackson: University Press of Mississippi.

Grimm. (n.d.). Hansel and Grethel in *Grimm's Fairy Tales*. Retrieved from

<https://www.cs.cmu.edu/~spok/grimtmp/012.txt>

Ikeda, Shiro (2017). “*Kaidan*” *no naka no Hān*. (pp. 66-76). University of Tomoya’s Lafcadio Hearn Research Center.

Jordan, Brenda (2005). Yuurei: Tales of Female Ghosts in *Japanese Ghosts and Demons: Art of the Supernatural* (pp. 25-47). George Braziller.

Karlsen, C. F. (1998). *The Devil in the Shape of a Woman: Witchcraft in Colonial New England*.

Retrieved from <https://www.overdrive.com/search?q=AA3944E8-6C16-4482-8CE2-6E31673E04D2>

参考文献 3/5

Makino, Yoko (2013). *Between Folklore and Literature : Where does "Yuki-Onna" come from?*

Seijo University economic papers, 201, "118-92".

Miwako, Kudoh (2010). *Buddhism and women in the Heian Era: Ganmon*. Bulletin of the

Research Institute of Bukkyo University (17), 139-157

Nakao, Yuko (2005). *Can Kuchisake Onna be categorized as a spirit?* Shi'en, 66, "105--117"

Oda, Jun'ichi (2006, April 3). *Minwa Kenkyuu no Aramashi*. Retrieved from

<http://www.aa.tufs.ac.jp/~odaj/body/synt.html>

Saori Yabe (Producer), Shuntarô Kanai (Producer), Hirokazu Kokago (Producer), Takafumi

Ôhashi (Producer), Kayako Hanamura (Producer), Nobumasa Miyazawa (Producer), Yoshimitsu

Yoshitsuru (Producer) & Kōji Shiraishi (Director), (2007). *Carved: The Slit-Mouthed Woman*. Japan.

参考文献 4/5

Schreier, M. (2004). *How Recipients View the Reality Status of the Blair Witch Project*. *Poetics Today*, 25. Retrieved from <https://muse-jhu-edu.library2.csumb.edu:2248/article/169628/pdf>

Takashima, Yoko (2014). *Yamamba, Fairies and Witches in Folktales and Folk Lore*. *Studies in the humanities*, 065, “115--135”.

Takemi, Momoko (1983). *Menstruation Sutra Belief In Japan*. *Japanese Journal of Religious Studies*. (pp. 229-246).

Thompson, S. (1946). *The Folktale*. New York: The Dryden Press. Retrieved from http://folkmasa.org/yashpeh/The_Folktale.pdf

Van Hoy, J., Knudsen, L., Redmond, J., Bekerman, D., Teixeira, R., Eggers, R., ... Blaschke, J. (2015). *The Witch*. Lionsgate.

参考文献 5/5

Yanagita, Kunio; Miura, Sukeyuki (2013). *Japanese Folktales: Yanagita Kunio Collection*.

Kadokawa Sofia Library. Kindle Edition. Kindle Locations “109-111”.

Zwissler, L. (2018). *In the Study of the Witch: Women, Shadows, and the Academic Study of*

Religions. *Religions*, 9(4), 105. <https://doi.org/10.3390/re19040105>